

**有害プランクトン情報**

(令和7年度 - No. 5)

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所・生産技術研究室

千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターでは、プランクトンの種類や密度によって、魚類のへい死や二枚貝の毒化を起こすことがあるため、毎月、東京湾で有害プランクトンの出現状況調査を行っています。今回は8月の調査結果をお知らせします。

なお、第2回調査及び内房海域は時化と調査船の上架整備実施のため欠測です。

○ 調査日	沖合漁場	8月 第1回	内湾 (8地点)	8月 6日	内房 (7地点)	欠測
		8月 第2回	内湾 (8地点)	欠測	内房 (7地点)	欠測

**東京湾(内湾)****【有害プランクトンの出現状況】**

- シュードシャットネラ属、ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
- 県環境研究センターによる調査で、シャットネラ属が警戒を必要とする基準 (10 細胞/mL) を上回る密度で確認されたため、8月22日に警報 (R7 No.1-1) を発出しています。
- 水産総合研究センターによる調査で、基準値以下であるものの、カレニア属が確認されていました。その後、県環境研究センターによる調査で、注意を必要とする基準 (100 細胞/mL) を上回る密度で確認されたため、8月29日に注意報 (R7 No.1-1) を発出しています。

・8月6日	(沖合漁場) 船橋・千葉灯標・盤洲北 ・盤洲南	最高密度は盤洲南の0.25細胞/mL
-------	----------------------------	--------------------

※ シュードシャットネラ属は100 細胞/mL、ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL以上で注意報を発出します。

- 赤潮 (透明度1.5 m以下, pH8.5以上, 酸素飽和度150%以上) は、8月6日に沖合漁場の羽田沖及び船橋でみられました。

**【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

## 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

## 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

・8月 6日	(沖合漁場) 富津・アクア北・千葉灯標・ 盤洲北・盤洲南	密度は富津で0.05細胞/mL、それ以外 で0.10細胞/mL
--------	---------------------------------	------------------------------------

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。今後の動向に注視が必要です。

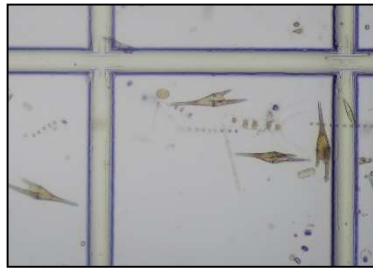
・8月 6日	(沖合漁場) 盤洲北	密度は0.10細胞/mL
--------	------------	--------------

## 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

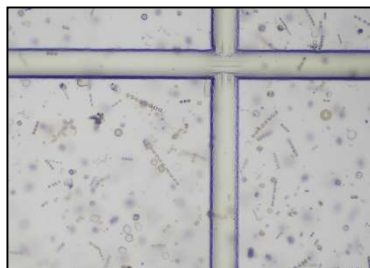
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

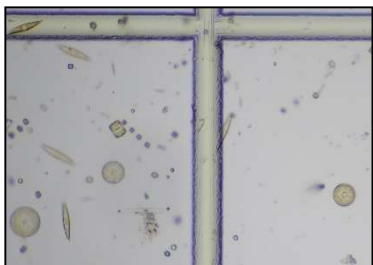
8月6日 内湾 珪藻 コシノディスカス属, スケルトネマ属  
渦鞭毛藻 ケラチウム属 など



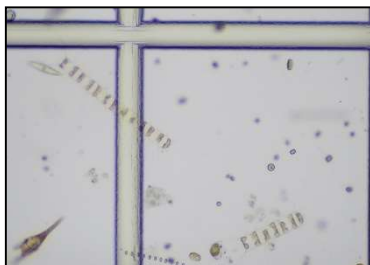
ケラチウム属など  
(8月6日 富津)



スケルトネマ属など  
(8月6日 羽田沖)

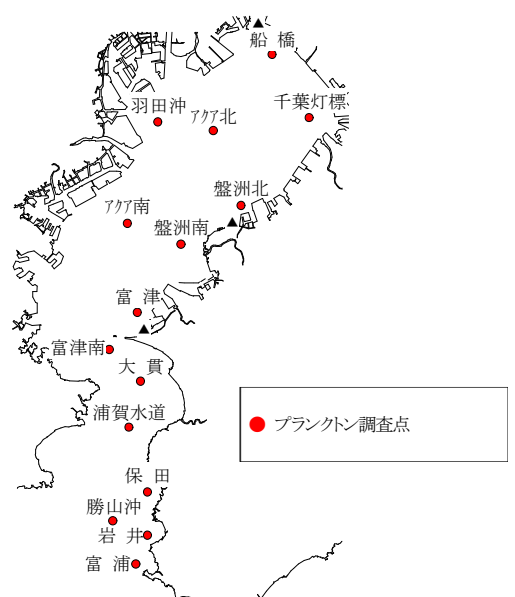


コシノディスカス属など  
(8月6日 盤洲北)



キートセロス属など  
(8月6日 アクア北)

調査点 (沖合漁場)



調査点 (貝類漁場)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091 TEL 0439-65-3071 E-mail wanken@mz.pref.chiba.lg.jp